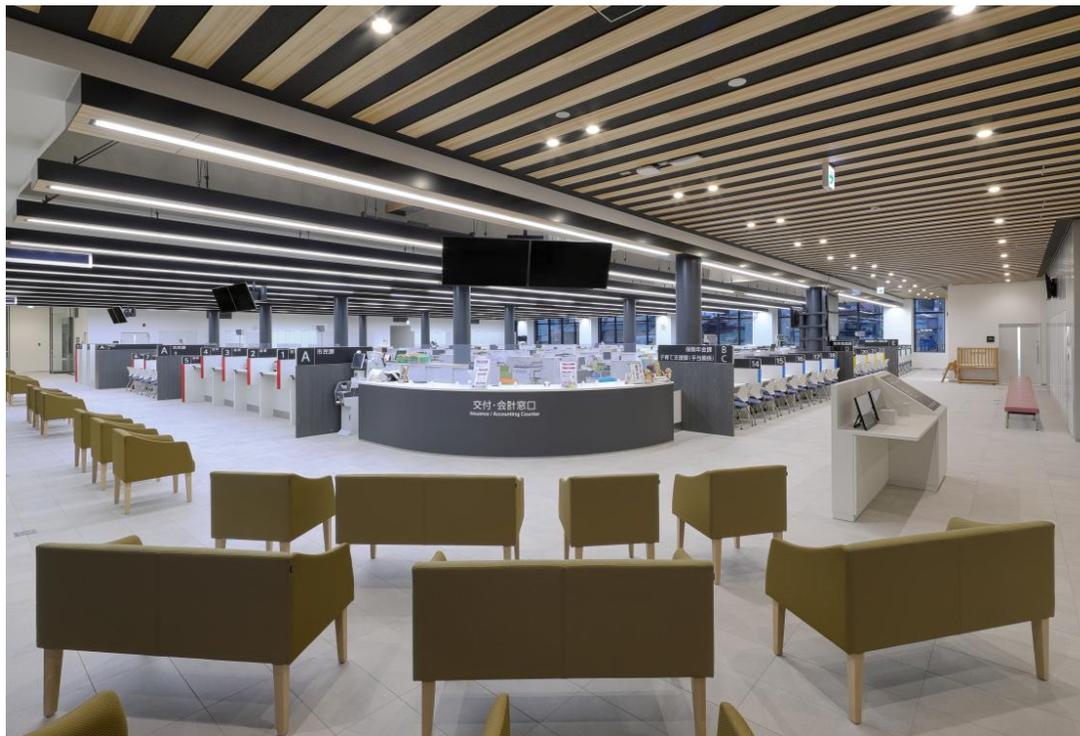


令和 5 年 5 月現在

プロジェクトの詳細

開 庁	: 令和5年5月8日
人 口	: 約124,000人
対象人員	: 530人
延べ床面積	: 約12,084.45㎡
建物概要	: 鉄骨造、耐震構造 地上5階
委託業務	: 大崎市役所本庁舎オフィス 環境整備業務



ロビーチェア

利用者が快適に過ごせるよう、1・2人用、長椅子仕様などを配置。張材は、耐アルコール・耐次亜塩素酸ナトリウム仕様とし、メンテナンス性に配慮。



ロビー・窓口 関連する窓口を集約配置するワンフロアサービス、番号案内表示システムを導入することにより利用者の利便性を図る。



窓口 取扱や相談内容により、ハイ・ローカウンター、セグメントパネル、L型ブースなどバリエーション豊富な窓口スペースを配置。



オカムラHPでも
ご覧いただけます

大崎市は宮城県北西部に位置し、平成18年、古川市、松山町、三本木町、鹿島台町、岩出山町、鳴子町、田尻町の1市6町が合併し誕生した、人口約124,000人を有する都市です。

新庁舎は他庁舎に分散していた機能を集約し、関連する窓口を集約配置するワンフロアサービスにより利用者の利便性と職員の事務効率の向上を図っています。また、高い耐震性や防火性を有しており、被災時においても業務が継続できる性能を備え、近隣市民の一時避難所としての役割も果たします。そのほか、行政と市民が協働した活動を行うための市民協働室、市民が気軽に利用できる屋内広場「パタ崎さん家(ち)」や市民ロビーを設けるなど、市民同士の交流や活動の場となる市民交流エリアを併設しています。加えて、内装の仕上げや家具の一部には、大崎市産材を利用することで、大崎市らしさを演出し、市民に愛され拠り所となる新庁舎となっています。



カウンターチェア

前脚キャスター・後脚アジャスターとし、移動しやすさと安定感を兼ね備えた仕様に。張地は、メンテナンス性に優れたビニールレザーを採用。



窓口

相談内容に合わせて、ローカウンターに利用者のプライバシーに配慮したセグメントパネルを配置。



上下昇降記載台

ロー・ハイトタイプだけでなく、利用者の使い易い高さに設定できる記載台。



相談室

ガラス間仕切りを採用することで、開放的で明るい個室空間となり、周囲から利用状況を確認することができる。



執務室

将来変化に対応できるユニバーサルレイアウトを導入。異動時には手荷物とワゴンの移動のみとし、ランニングコストの削減につながる。



議場

対向式レイアウトとし、一部を段床にすることで議員側・行政側双方からお互いが見えやすく、議論が行いやすい。



傍聴席

肘木に収納できるメモ台付き仕様の傍聴席。座面を跳ね上げ仕様にするすることで、利用者の出入りのしやすさに配慮。



市民協働室

ガラス間仕切りにより、開放的で明るい印象を与えるスペース。市民が自由に利用できる市民ロビーに面しており、市民活動の様子を感じることができる。



屋内広場

市民交流エリア1階に配置されており、市民が自由に利用することができる。屋外広場に面する2面の折り戸サッシを開放することができ、イベントや催しなどの一体利用が可能。



小上がり

パタ崎さんの家をイメージした靴を脱いで利用する小上がリスペース。円卓を囲みくつろいだり、腰掛スペースとしても利用できる。



キッズスペース

市民交流エリアにお子様連れの市民が利用しやすいスペースを整備することで、幅広い世代の利用を促す。